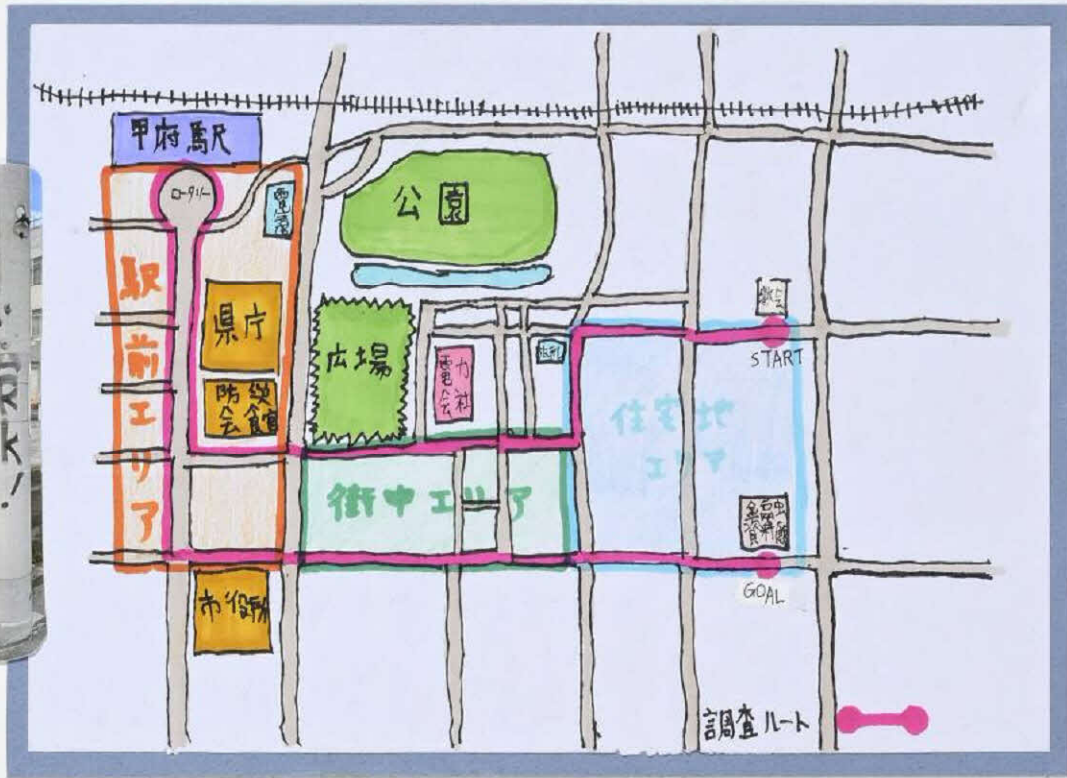


甲府の街中落書き事情



○調査日 2025年7月19日(土) 6:00~7:30
○調査エリア 甲府カトリック教会カトリック通り北側~甲府駅前~カトリック通り南側~金融資料館



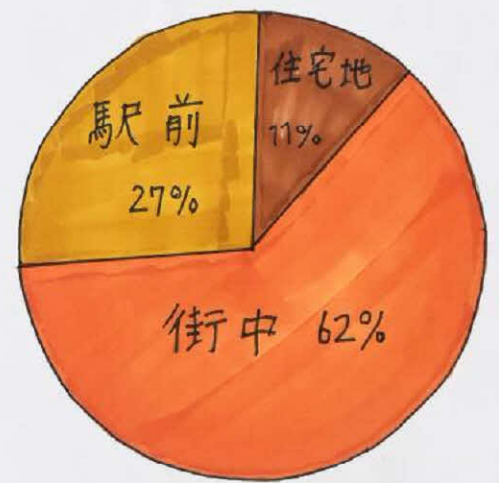
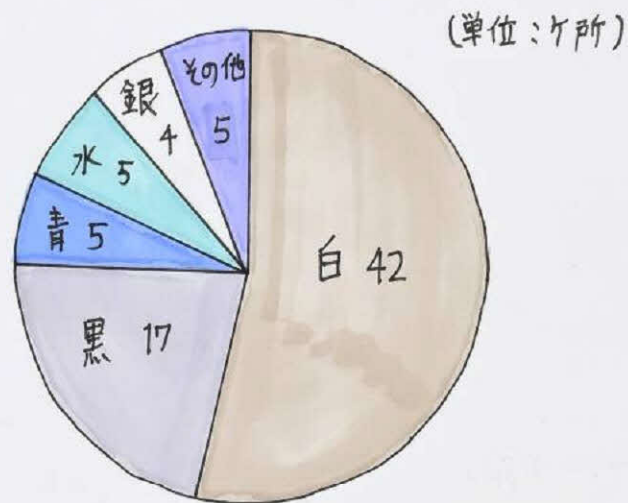
○調査の動機○

僕はよく甲府の街中を歩きます。車に乗っていると気づきにくいですが、歩いていると所々に落書きがされているのを目にします。それらは色々なものに書かれていて、色々な色や大きさ、文字や記号、マークなど様々です。どのような場所や物にどのようなものが書かれているのか調べてみて、街中の落書きの実態を調査してみようと思いました。

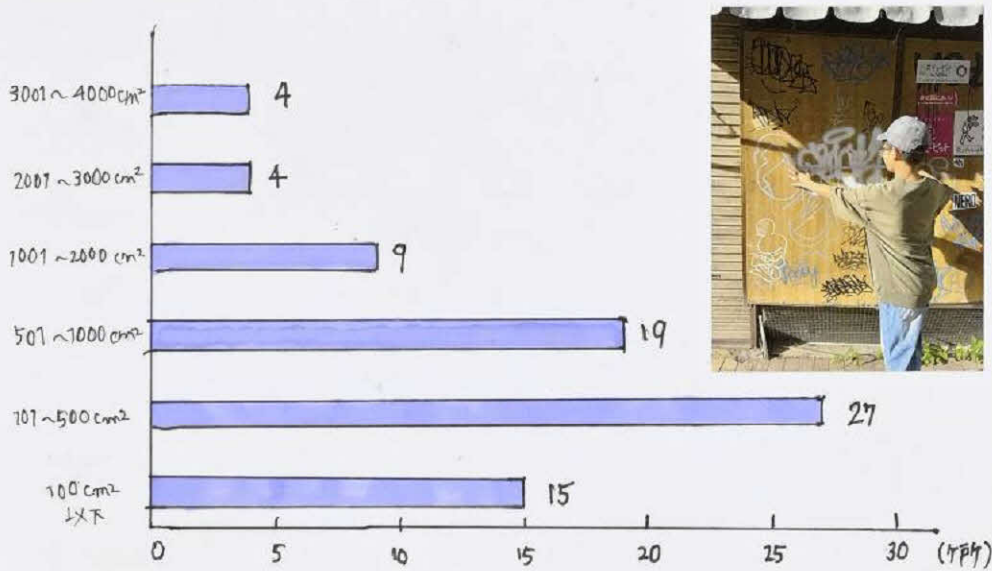
落書きの色別数

エリア別落書き数割合

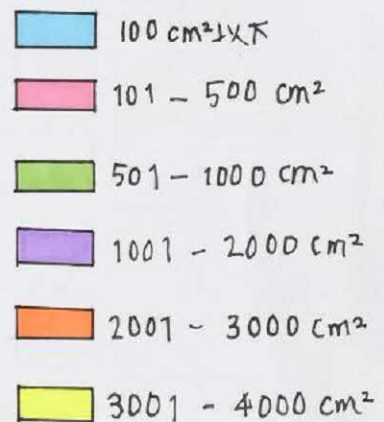
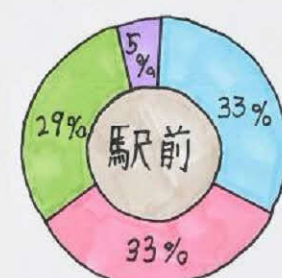
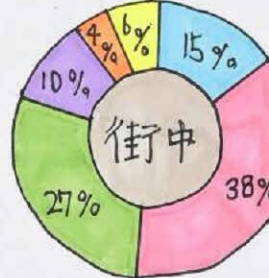
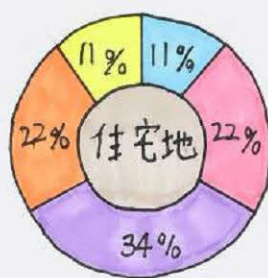
書かれているものの種類別数



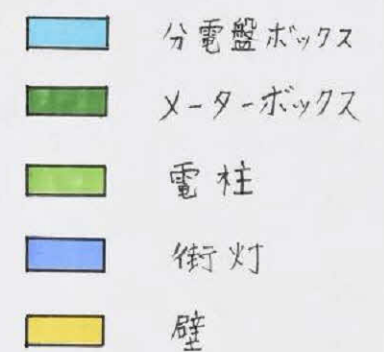
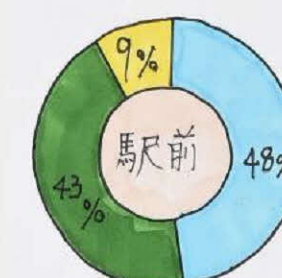
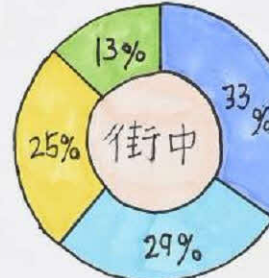
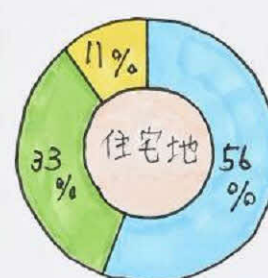
落書きの大きさ別数



エリア別落書きの大きさの割合



エリア別書かれているものの割合



こんな
ものに
かかれて
ました



街中・駅前に多かったマーキング



○調査結果のまとめ○

- ・人通りが多くなるにつれて落書きの数は多く、サイズは小さい特徴が見られた。
- ・人通りの少ない住宅地は時間をかけ易いのか比較的大きい落書きが目立った。
- ・狭いエリア内でマーキングのような同じ落書きがいくつも見られた。
- ・高架下に描かれているようなカラフルで大きなものではなく、単色で簡易的な落書きが多かった。
- ・街中から駅前のエリアにしかなかった分電盤ボックスは、大きさや色や形が適度で落書きされている率が高かった。
- ・せっかく街灯や分電盤ボックスの色が茶色に統一されていてまとまりのある景観に見えるのに、黒板のように落書きされ易い色でもあると感じた。